

# 令和8年度 F-REI サマースクール 地域環境共創ユニット（林U）プログラム実施要項（概要）

<b>研究体験の目的 （一般目標）</b>	<p>本サマースクールは、福島フィールドを舞台に、森林および河川環境における実践的な調査・分析を体験しながら、環境動態研究の最前線に触れる機会を提供します。</p> <p>参加学生は、福島国際研究教育機構（F-REIという。）地域環境共創ユニットにおいて、フィールドワーク（試料採取）からデータ解析、研究者との議論までを一貫して体験します。これにより、以下を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学際的な研究の面白さと難しさを実感する</li> <li>・自らの関心や適性を見つめ直す</li> <li>・将来の研究・キャリアの方向性を具体的に描く</li> </ul>
<b>対象学生</b>	学部3・4年、修士課程、博士後期課程の学生（3～4名）
<b>求める資質等</b>	理工学系で、環境動態研究に興味があること
<b>実施場所</b>	環境試料採取のフィールドワーク（浪江町津島地区・太田川上流域） + 福島県環境創造センター（三春）内 地域環境共創ユニット研究室（+コミュタン福島） + F-REI本部（+東日本大震災・原子力災害からの復興について考えるツアー）
<b>実施内容</b>	フィールドワーク2種類（植物・土壌等サンプル採取）+データ解析+セミナー+コミュタン福島見学
<b>実施日程</b>	8/7（金）15:00: オンライン事前研修（WEB） （8/17（月）遠隔地からの参加者の郡山市内への移動日） 8/18（火）day1: 安全・倫理講習、セミナー、コミュタン福島見学（@三春 福島県環境創造センター） 8/19（水）day2: フィールドワーク1（サンプル採取）+前処理（@調査地←環境創造センター発着） 8/20（木）day3: フィールドワーク2（サンプル採取）+前処理（@調査地←環境創造センター発着） 8/21（金）day4: サンプル分析、まとめ（@三春 福島県環境創造センター） 8/22（土）day5: ツアー（郡山市内～請戸小～福島県復興祈念公園～～東日本大震災・原子力災害伝承館） 8/23（日）day6: 発表準備（自習）、休日 8/24（月）day7: 活動内容報告会、総括フィードバック（@F-REI本部）
<b>指導体制</b>	石井 弓美子 主任研究員、佐々木 祥人 主任研究員、（総括指導：林 誠二 UL）
<b>募集方法</b>	公募選考 <u>申込期間：2026年4月20日（月）～2026年6月5日（金）</u>

## 1. プログラム名

### 福島国際研究教育機構（F-REI）地域環境共創ユニット サマースクール （短期研究体験）

※本プログラムは「福島国際研究教育機構インターンシップ研修生受入細則（令和6年細則第8号）」に準拠して行うものになります。

※本プログラムは、福島県双葉郡浪江町の帰還困難区域内におけるフィールドワークを含みますが、国及び町のルールを遵守し、地域環境共創ユニットに所属する研究者の監督のもと、個人線量管理を含む安全管理体制を整えて実施します。

## 2. 目的

本サマースクールは、以下をコンセプトに、福島のフィールドを舞台として実施します。

1. 「現場で測り、データで考え、自分の研究の方向を見つける1週間」
2. 「福島のフィールドで、研究者としての自分を試す」
3. 「“体験”では終わらない、キャリアにつながるサマースクール」

福島国際研究教育機構（F-REI：以下「機構」という。）地域環境共創ユニット※において、森林および河川環境を対象とした実践的なフィールドワーク（試料採取）およびデータ解析を行い、環境動態研究の最前線に触れる機会を提供します。参加者は、フィールドワークからデータ解析、研究者との議論までを一貫して体験することで、以下を目指します。

- ・学際的な研究の面白さと難しさを実感する
- ・自らの関心や適性を見つめ直す
- ・将来の研究・キャリアの方向性を具体的に描く

※参考：F-REI 研究者パンフレット

[https://www.f-rei.go.jp/assets/contents/F-REI\\_Research\\_File\\_J\\_2025\\_0827.pdf](https://www.f-rei.go.jp/assets/contents/F-REI_Research_File_J_2025_0827.pdf)

## 3. 実施期間

2026年8月18日（火）朝～2026年8月24日（月）夕方

※上記実施日程に加え、事前プログラムとして8月7日（金）15：00にオンライン研修を実施します。

また、8月22日（土）は、複合的な災害を経験した福島だからこそ挑戦できる研究開発と、その成果の産業化を核として、我が国だけでなく世界共通の課題解決に貢献する「創造的復興の中核拠点」

を目指す機構設立の原点となった東日本大震災・原子力災害からの復興について考える日（ツアー）とします。

#### 4. 実施場所

- ・ 福島県環境創造センター内 F-REI 地域環境共創ユニット研究室（1～4日目）  
（住所：〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10番2号）  
[アクセス\\_福島県環境創造センター](#)
- ・ F-REI 本部（7日目のみ）  
（住所：〒979-1521 福島県双葉郡浪江町大字権現堂字矢沢町6-1）

#### 5. 対象

- ・ 現在、学部3・4年、大学院修士（博士前期）課程、博士後期課程に在籍していること（特定の大学やプログラムに限定されません）
- ・ 募集人数：3～4名（安全管理の為、少人数制による集中的な指導を実現するため）

#### 6. 求める資質・専門等

- ・ 専門分野（必須）：理工学系
- ・ 基礎的なスキル（望ましい）：特になし
- ・ 意欲：環境動態研究に興味関心があること

#### 7. 実施内容

地域環境共創ユニットでは、環境中に放出された放射性物質が、生態系の中でどのように移動し、植物や生物、そして人間活動とどのように関わっているのかを理解するための研究を進めています。これらの知見は、福島の実地環境回復と復興を支える重要な基盤となっています。

本プログラムでは、福島県双葉郡浪江町の帰還困難区域を含む森林や河川で植物や土壌等の環境試料採取を行い、その試料を自ら分析することで、環境中の放射性物質と生態系の関係を調べる研究プロセスを体験します。このような実践的なフィールド調査から分析までを通して、環境動態研究の基本的なアプローチを学びます。

注：指導は必要に応じて日本語と英語で行われます。

## 8. 日程

8/7（金）15：00 事前プログラム（オンライン研修）：

オリエンテーション（研究室・指導員紹介、テーマ説明、重要事項説明、参加者自己紹介など）

8/18（火）1日目（環境創造センター内研究室）：安全・倫理講習、セミナー、及び、コミュニティ  
福島（環境創造センター交流棟）見学

8/19（水）2日目（屋外+研究室）：フィールドワーク※<sup>1</sup>（サンプル採取）+サンプル前処理

8/20（木）3日目（屋外+研究室）：フィールドワーク※<sup>2</sup>（サンプル採取）+サンプル前処理

8/21（金）4日目（環境創造センター内研究室）：サンプル分析、まとめ

8/22（土）5日目（東日本大震災と原子力災害からの復興について考えるツアー※<sup>3</sup>）：

震災遺構 浪江町立請戸小学校、福島県復興祈念公園、東日本大震災・原子力災害  
伝承館の見学等。浪江町近郊のホテル宿泊

8/23（日）6日目（浪江町近郊のホテルまたは自宅宿泊）：発表準備（自習）及び休日

8/24（月）7日目（F-REI 本部）：活動内容報告会、総括フィードバック

※1, 2：フィールドワークは、福島県双葉郡浪江町の津島地区ならびに太田川上流域の帰還困難区域での実施を予定しています。詳細な日程は、参加決定者に、後日、お知らせします。また、屋外での活動になりますので、天候などの理由により、実施内容が変更になることがあります。

※3：ツアーの詳細な日程は、参加決定者に、後日、お知らせします。

## 9. 経費等

- ・ 登録料：不要（無料）
- ・ 給与、食費支援：なし
- ・ 交通費（航空運賃、鉄道運賃等）：別途、支給

※遠方からの参加者の場合、事前の相談により、郡山市内のホテル手配ならびに宿泊費補助が可能です（要申請）。

※5日目（8/22）のツアーの移動手段、施設見学及びホテル宿泊、6日目（8/23）のホテル宿泊、及び7日目（8/24）のホテル～F-REI 本部～（JR 浪江駅）～JR 郡山駅の交通手段については、機構が手配し、費用負担します。

## 10. 応募締切

2026年6月5日

※事前プログラムのオンライン研修を含む全日程に参加できることが必須条件になります。

※本プログラムでは、一部帰還困難区域内でのフィールドワークを実施するため、①帰還困難区域への立入に関する事項を含む同意書を、後日（参加決定後）、提出できる方、②所属する大学（院）の指導

教員等から本プログラムへの参加に関する承認を得ている方、③フィールドワーク実施前に行われる事前教育（安全管理および放射能／放射線に関する説明）を理解した上で遵守事項に同意できる方、のみ応募可能です。

## 11. 応募に必要な書類

- ・ 申込申請書（MS Forms よりオンライン申し込み）

※次の項目12をご参照ください。

## 12. 応募書類提出先（MS Forms）並びに相談受付窓口（E-mail）

- ・ 応募書類提出先：以下のリンクから MS Forms に必要事項をご記入ください。

[FY2026 F-REI サマースクール申し込み](#)

- ・ 相談窓口 E-mail: [F-REI\\_jiniku@f-rei.go.jp](mailto:F-REI_jiniku@f-rei.go.jp) （運営管理部門研究開発推進部人材育成推進課）

※担当：エデュケーション・アドミニストレーター（EA）有銘（ありめ）、EA 鈴木

## 13. 選考結果通知

- ・ 参加決定者には6月上～中旬（6月12日ごろまで）にEメールにて通知いたします。
- ・ その際には、応募フォームで申告いただいた「指導教員等の連絡先」にもCC.で同送します。

## 14. 選考基準

- ・ 研究および研究キャリアに対する関心と熱意
- ・ 研究分野との適合性
- ・ 本プログラムへの参加に関する指導教員等の承認

## 15. 指導体制

- ・ 主研究指導員：石井 弓美子 博士、佐々木 祥人 博士
- ・ 総括研究指導員：林 誠二 博士（ユニットリーダー）
- ・ 相談：プログラム期間中、随時、対応可能

## 16. 評価

参加期間中に修得した研究態度および技能について総合的に評価し、研究指導員が定める基準を満たした参加者には、修了証を発行します。

## 17. 倫理

参加決定者には、後日、以下の書類を提出していただきます。

- ・ 同意書（研究倫理規定、成果物規定、写真使用、放射線や屋外活動における安全管理等への同意確認）

## 18. 保険

参加決定者には、後日、以下のいずれかの書類を提出していただきます。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災賠償責任保険の加入証明書
- ・ または、上記と同等の補償内容の保険加入書類

## 19. その他

- ・ 応募者の個人情報、選考および連絡目的のみに使用されます。
- ・ 同意書に基づき、本サマースクールで撮影した写真は、機構のウェブサイト、公式 SNS、各種報告書等に掲載される場合があります。